

# 令和5年度 事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和6年3月4日

事業所名 須賀川市立たけのこ園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6		プレイルームと保育室の使い方を構造化している。	・今後、医療的ケア児が入園したときに、安全な療育スペースを確保する必要がある。 ・子どもたちの特性やADLが変化すればその都度スペースの感じ方が異なってくるため、特性に応じた対応をする。
	②	職員の配置数は適切であるか	5	1	医療的ケアなどの障がいの重い子どもに対応するために、看護師を配置した。	・保育士の仕事の質や量を工夫し、働きやすい環境整備に努める。 ・園に用務員が配置されておらず、改善が必要である。 ・主任保育士が児の担当をしているため、主任保育士の業務の整理が必要である。
	③	生活空間は、清潔で心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	2	毎日の清掃と消毒を行い、清潔で安全な環境づくりに努めている。	・室内に水道設備がないことや床の冷たさ、硬さ等、生活空間の配置や構造に問題がある。子どもたちが心地よく過ごすことができるよう主管課に働きかけながら改善を図るようにする。
業務改善	④	保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6		保護者の評価をまとめ、意見を次年度の業務改善に生かしている。	
	⑤	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6		自己評価に加えて、保護者向け評価表の結果を踏まえて、事業所評価として公表するとともに、第三者評価を実施し、併せて公表する。	
	⑥	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6		研修の内容を園内で共有したり、月に1回、臨床心理士に子どもの発達の様子やかかわりについて指導助言を受けている。	
適切な支援の提供	⑦	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	6		相談支援事業所や併用している児童発達支援事業所等と連携して担当者会議を開催し、支援計画に反映させている。	
	⑧	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6		一人一人の子どもの障がいの状況や発達に合わせた支援内容を設定するよう努めている。	
	⑨	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4		毎日子どもが降園したあとで、1日のかかわりの振り返りを全職員で行い、支援内容について検討している。	・計画に沿った支援の評価の仕方を全職員が把握できるようにする。
	⑩	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	1	児童発達支援管理責任者が中心となって、毎月の職員会議や日々の振り返りの中でチームで立案している。	・日々の振り返りの時間に、話し合えると思う。
	⑪	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	2	子どもの特性や発達に合わせて内容を検討・設定している。	・工夫しながら取り組む必要がある。
	⑫	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	6		その日の子どもの状況に応じて個別活動と集団活動を組み合わせ、柔軟に対応するようにしている。	
	⑬	支援開始前には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	1	毎朝欠かさずに、子どもが登園する前に職員間で打合せを行い、その日の支援内容や注意点を確認している。	
	⑭	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	6		支援内容やそれぞれの職員が気づいた点等について振り返りの時間として設定し、全職員で共有し、次の支援につなげている。	
	⑮	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6		毎日の振り返りの内容を基に記録し、支援の改善につなげている。	
	⑯	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	4	2	相談支援事業所と連携しながら、計画的にモニタリングを行い、支援計画の見直しを行っている。	・前後期に行っているが、個々の発達に合わせて定期的には行っていないため、改善が必要である。

関係機関や保護者との連携	⑰	障がい者相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6		各会議には、担当者に加えて、園長や主任などが参加するようにしている。	
	⑱	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	6		こども課の家庭相談員と必要に応じて連携しながら、子どもや家庭状況の情報を共有している。	
	⑲	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がい者のある子どもを支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	6		福島病院の主治医及び、地域医療連携室と情報共有しながら、医ケア児の状況や手技について指導助言をいただいている。	
	⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がい者のある子どもを支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	6		必要に応じて、主治医や医療機関が行うカンファレンスに参加するなど連携を密にすることができるよう体制を整備している。	
	㉑	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5	1	文書で引継ぐほか、各学校を登園職員が訪問し、アフターケアを行っている。	ケースによっては、事業所の方から就学先の学校を訪問し、子どもの情報を共有することも必要と考える。
	㉒	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	4	他の幼稚園やこども園を併用しての障がいのない子どもとの交流があるケースもある。	・近くにあった保育園が閉園になり交流がなくなってしまったため、工夫が必要である。
	㉓	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	6		自立支援協議会こども支援部会に園長が毎回出席している。	
	㉔	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6		担当者が、子どもの登園時や降園時に保護者と子どものことについて丁寧に情報を共有し、共通理解を図っている。	
保護者への説明責任等	㉕	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6		事業所を利用する際に、園長が説明している。	
	㉖	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6		年2回の保護者からのモニタリングを通して、児童発達支援計画を見直し、保護者の同意を得ている。	
	㉗	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6		年2回実施している健康診断で、児童精神科医や臨床心理士に相談する機会を設け、必要な助言と支援を行っている。	
	㉘	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	1	保護者会を組織し、保護者会主催の研修会等を支援している。	
	㉙	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を保護者に対して発信しているか	6		月1回園だよりを発行するとともに、ホームページを適宜更新し、子どもたちの様子を発信している。	
	㉚	個人情報の取扱いに十分注意しているか	6		保有個人情報の取り扱いについては、細心の注意を払って取り扱うよう周知されている。	
	㉛	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6		子どもの特性に応じた配慮をしながら、保護者への傾聴を心がけている。	・遊具の入れ替えを行ってはいるが、十分ではなかったため、改善する。
	㉜	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	6		各種マニュアル及び消防計画を作成し、職員に周知するとともに、避難訓練時は保護者に周知して実施している。今年度は、新たに園の安全計画を作成した。	・個々に合わせて作成はしているが、十分に実施できているとは言え切れず、改善が必要である。 ・訓練は定期的に行っているが、どこに何があって実際にどう動けばいいのかわからず、把握できていないため、周知する。
非常時等の対応	㉝	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6		火災や風水害、地震、不審者侵入等を想定した避難訓練を年5回計画し、実施している。	・今後は医ケア児、重度心身障がい児のことを想定した訓練も必要になる。(医療機器の管理など)
	㉞	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	6		保護者記入の文書で確認し、必要に応じて聴き取りをして非常時の対応について確認している。	
	㉟	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	2	事業所利用の契約時に食物アレルギーの有無について確認している。	・アレルギーの有無は共有されているが、医師の指示書がないケースがあるため、保護者を通して指示書を提出していただくよう改善する。
	㊱	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6		・ヒヤリハット事例を作成し、全職員が事案とその背景、対応策を共有している。	
	㊲	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6		・新たに虐待防止委員会を設置し、虐待防止、身体拘束の禁止等について話し合ったり、研修を受講したりしている。	

令和5年度 保護者からの事業所評価の集計結果(保護者数13 回答数13)

事業所名 須賀川市立たけのこ園

回答数13	チェック項目	はい	どちらかといえははい	どちらかといえはいいえ	いいえ	考 察
環境・体制整備	① 職員の配置や専門性は適切であるか	9	3	1		全職員により、日々の支援に関して、振り返りを行い、支援の検証を行っています。そのほかの外部研修などにも積極的に職員を派遣したいと考えています。
	② 障がいの特性に応じて、設備等は配慮されているか	8	3	2		子どもの課題に応じた遊具や教材について、不十分ではないかとのご指摘がありました。遊具や教材の工夫と新たな設置を行ってまいります。また、説明する機会を設けたいと考えます。
	③ 生活空間は、清潔で心地よく過ごせる環境活動のスペースが確保されているか。	9	2	2		新型コロナウイルス感染予防のため毎日の消毒を行い、清潔な環境維持に努めました。外の遊具の劣化なども指摘がありましたので整備に努めます。
適切な支援の提供	④ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析され、児童発達計画が作成されているか。	11	1	1		担当者会議やモニタリングの機会をととして、子どもや保護者のニーズに応えられるよう随時児童発達支援計画を見直しました。今後も、相談支援事業所との連携を図ってまいります。
	⑤ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	10	2	1		子どもの発達に沿った課題が設定されているかわからないとの意見が寄せられています。支援に関する保護者への説明を十分に行うよう改善してまいります。
	⑥ 活動プログラムが固定化しないように工夫されているか。	11	2			活動プログラムは、子どもの実態を把握しながら職員間で検討し、固定化しないよう工夫しています。今後も継続してまいります。
保護者への説明等	⑦ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされていたか。	11	2			運営規定や利用者負担については、重要事項説明の際に説明しました。また、不明な点や疑問等については随時相談に対応することを説明しました。
	⑧ 日頃から子どもの状況を保護者に伝え、子どもの健康や状況、課題について共通理解を図っているか。	11	2			保護者と担当者間で、送迎時に健康状態の情報交換を行うとともに、日々の連絡帳を通じて共通理解を図っています。今後は、健康観察アプリLEBERを活用し、把握の強化に努めます。
	⑨ 定期的に、保護者に対して面談や育児に関する助言等の支援が行われているか。	12	1			年に2日間、児童精神科医や臨床心理士による健康相談会を開催し、保護者の支援を行っています。参加は、保護者の希望です。積極的な参加を促してまいります。
	⑩ 保護者会の活動の支援や保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか。	7	4	1	1	数年間、新型コロナ感染症への対応のため、保護者会主催の行事が減っていました。また、保護者交流会が中止になったことに代表されるように、保護者様のニーズが多様化していることも考えられます。アンケートを実施し、意見を集約して改善に当たります。
	⑪ 子どもや保護者からの相談や申入れに迅速にかつ適切に対応しているか。	12	1			保護者からの相談には、丁寧に対応するよう心がけました。必要に応じて送迎時に担当者または、主任や園長が相談できる体制づくりを行いました。
	⑫ 個人情報の取り扱いに配慮されているか。	11	2			ホームページ等への子どもの写真の掲載については、年度当初に保護者の意向を確認し、対応しました。また、常に職員間で守秘義務についての意識を高めるための研修を実施しました。
非常時等の対応	⑬ 避難訓練や防犯・不審者対応など、発生を想定した取組について、説明されているか。	10	3			年間5回の避難訓練・防犯・不審者対応の訓練については、年度初めに実施する日程をお知らせしました。また、実施後は、ホームページ等で結果や子どもたちの様子をお伝えしました。
	⑭ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか。	9	4			消防設備の点検と業者からの説明を全職員で聞く機会を設け、非常災害の発生時に速やかに通報できるようスキルアップに努めました。また、災害時の職員の役割や動きについては、避難訓練等を通して確認し、強化に努めました。今後は、保護者・職員を対象とした防災と災害発生時の対応について研修会等を企画したいと考えています。
満足度	⑮ 子どもは通園を楽しみにしているか。	11	2			高評価でした。子どもたちの思いや保護者の願いを受止め、これに寄り添いながら支援してきた結果だと考えています。今後も、この姿勢を大切に、子どもたちが安心して登園できるようにしてまいります。
	⑯ 園の支援に満足しているか。	10	2	1		子どもたちの支援に関しては、発達を促すことができるよう全職員の専門性を磨き続ける取組を継続いたします。園の運営面につきましては、保護者の意見を聞かせていただき、真摯に対応してまいります。